

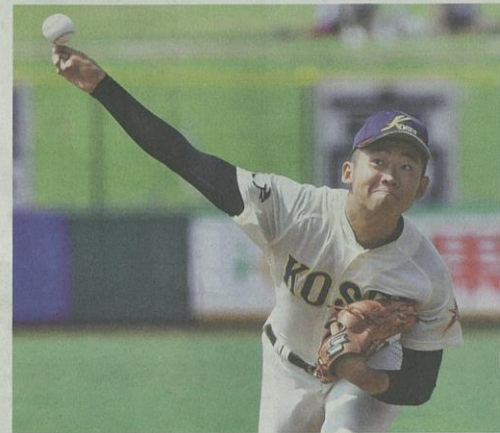
# 打撃戦 光星4発

## 青森山田に7回コールド



◇第9日

第100回全国高校野球選手権記念青森大会第9日は20日、弘前市はるか夢球場で準決勝2試合を実施した。前回大会の決勝と同一カードとなった八学光星―青森山田は、光星が4本塁打を含む14安打と打線が爆発し、前回覇者の青森山田をコールドで退けた。弘前工―弘学聖愛の同地区対決は、2―1で聖愛に軍配が上がった。21日は休養日のため試合を行わない。決勝は22日、同球場で実施する。午後1時試合開始。(取材班)



先発した八学光星の主戦福山優希

主戦途中降板  
反省の色強く  
○：前回大会決勝と  
同カードの八学光星と  
青森山田による準決勝  
は、春季県大会に続き  
光星に軍配が上がった  
た。仲井宗基監督が  
「真つ勝負で行く」  
と信頼してマウンドに  
送り出したのは昨夏の  
決勝で登板し、悔し  
を味わった主戦福山優  
希。結果は光星打線が  
爆発して雪辱を果たし  
たが、福山は勝利は  
うれしが、まだ準決  
勝。これからの大事  
き締め、大一番に照準  
を合わせた。

### 準決勝

青森山田 Hoshinohyogo

7回コールド

工藤、佐々木優  
▽本塁打 但井、武岡2、  
長南(八)

▽二塁打 佐々木優(青)  
▽暴投 福山、中村(八)

▽試合時間 2時間16分  
(球審：小松、塁審：関、  
後藤、蛭巻)  
▽評 八学光星は初回1  
ランをそれぞれ打ち、大差  
で勝利した。青森山田は3  
投手が継投したが、相手打  
線を抑え込めずに力尽き



「青森山田 八学光星 3回八学光星1死1、二塁、武岡龍世が2打席連続の本塁打を放ち、10―4と点差を広げる」はるか夢

### 14安打15点 昨夏敗れたライバルに雪辱



両チーム合計で24安打の乱打戦を制した八学光星。好機の一発で大量得点を奪い、昨夏の決勝で敗れた相手を書辱した。勝利が決まった瞬間、ナインは拳を突き上げて、喜びを爆発させた。

昨夏の決勝は、青森山田を相手にわずから安打に泣いた。「打たなければ勝てない」と打力を鍛え、相手投手陣への対応力を磨いてきた。加えてリベンジに燃える気持が、強力打線に拍車を掛けた。

「相手より1点でも多く取る」と気合を入れて臨んだこの試合。1点をリードされて迎えた初回に、但井智哉の3点本塁打で、計4点を挙げて、試合の主権をすくすく奪い返した。

その後好機を逃さずに加勢した。武岡龍世は二、三回に打席連続の本塁打で6打点の活躍。試合前日、長南洋主将から「肩をしめて打つよう」とアドバイスを受け、フォームを改善して臨んだという。1試合の本塁打は初めてで、最高です」と笑顔を見せた。

ライバルを破り、勢いに乗る光星。甲子園出場を懸けた大一番に、さらなる闘志を燃やした。2年生の武岡は「持ち味の打撃を生かし、3年生に負けない気迫で戦う」と気合を入れた。

(里村豊)

# 光星―聖愛あす決勝